

みんな輝く未来共創のまち とだ スーパーシティ構想

概要 面積が小さくコンパクトな本市の特徴を生かしつつ、健康寿命の低迷や高齢社会への対応など市の課題に対応するため、歩きやすく、さまざまなニーズが完結する、全世代が住みやすいまちを構築する。

課題

- ・健康寿命の低迷の克服や高齢社会への対応に向けて、歩きたくなるまちづくりの推進やICT等を活用した取組を進める必要がある。
- ・異常気象による自然災害などに官民が連携して対策を行う必要がある。

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	駅を中心としたウォーカブルなまちづくり	長期 (10年)	高齢者から子供まで、幅広い世代が居心地がよく歩きたくなるよう、道路等パブリック空間をウォーカブルな人中心の空間に転換し、官民連携によるまちなかの賑わいの場の創出を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査 ・先進的な事例
スマート	ICT等を活用した官民連携による市民のQOL等の向上	短中期 (3~5年)	ICT等を活用した官民連携によるシェアモビリティや医療MaaSの実証実験等を通じ、市民のQOL等を向上させる。 3D都市モデルを構築し、各種まちづくり等に関する計画検討のプラットフォームとして活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・システム構築 ・シェアサイクル ・EVシェア
レジリエント	災害時でも市内の活動が途絶えない仕組みの構築	中期 (5年)	災害時に活用できる電源施設の導入や防災ポータルサイト等の構築、防災活動への地域住民の参加を促すことにより、地域の防災力を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査 ・蓄電池 ・太陽光発電 ・バッテリーの電源化

戸田市取組イメージ図



【エリア全体】

- ICT等を活用した官民連携によるシェアモビリティの実証実験
- 太陽光発電及び蓄電池の導入
- 災害時に活用できる電源施設の導入
- 防災ポータルサイト等の構築

シェアサイクルポート

発電する
貯める
使う

【蓄電池イメージ】

【市内3駅周辺】

- 官民連携によるまちなかの賑わいの場を創出

まちなかの賑わいの場

居心地が良く歩きたくなるまち

主棟 (店舗やオフィス棟) 主棟 (店舗やオフィス棟)

副棟 (店舗やオフィス棟) 副棟 (店舗やオフィス棟)

まちなかの賑わいの場

まちなかの賑わいの場

身近な公園・広場

オープンスペース化

【美笹地区】

- 官民連携による医療MaaSの実証実験

【医療MaaS車両】

【医療MaaS車内】